

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月13日

上場会社名 株式会社エー・ピーカンパニー 上場取引所 東
 コード番号 3175 URL <http://www.apcompany.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米山 久
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 杉谷 仁司 (TEL) 03-6435-8440
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	18,158	△1.0	194	—	103	80.9	137	—
2019年3月期第3四半期	18,337	△6.4	△126	—	57	△90.7	△115	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 137百万円(—%) 2019年3月期第3四半期 △121百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	19.04	—
2019年3月期第3四半期	△16.05	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	10,594	1,552	14.0
2019年3月期	10,651	1,408	12.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 1,478百万円 2019年3月期 1,339百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500	△0.3	300	—	300	—	100	—	13.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 1社(社名) 北京健農飲食管理有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	7,427,850株	2019年3月期	7,427,850株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	225,206株	2019年3月期	225,206株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	7,202,644株	2019年3月期3Q	7,202,659株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実勢の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出が引き続き弱さを含むものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、通商問題を巡る動向、中国経済の先行き、英国のEU離脱等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引上げ後の消費者マインドが不透明であり、依然として不安定な状況にあります。

外食産業におきましても、個人消費の根強い節約志向に加え、最近ではフードロス（食品ロス）も社会問題化しており積極的な取り組みが求められる状況にあります。

このような環境の中、当社グループにおきましては消費環境の変化に対応し、付加価値の高い商品の開発や販売におけるサービスのさらなる強化に取り組んでおります。「食のあるべき姿を追求する」というグループ共通のミッションのもと、既存ブランドの再構築及び新ブランド店舗の開発を基軸に、優秀な人材の確保及び教育、生産地の開拓及び生産者との継続的な深い関わりによる商品力の強化など、事業モデルの強化に努めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は18,158百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は194百万円（前年同期は営業損失126百万円）、経常利益は103百万円（前年同期比80.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は137百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失115百万円）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①生産流通事業

生産流通事業では、「生販直結モデル」の一部として、地鶏、鮮魚、青果物などの生産及び流通事業を行っております。このため、食産業全般において、台風などの天候不順の影響で、仕入価格の不安定化が事業課題になっておりますが、当社グループにおいては主要食材を当社グループ会社や安定した契約農家などから調達を行うことが事業の安定化につながり強みとなっております。

ただし直近では、「塚田農場」ブランド店舗の店舗数及び売上高が減少した一方で、当社主力商品である地鶏メニューの推進を行ったことにより、地鶏の生産量や野菜の流通量は横ばいとなっております。また集中購買による原価率低減や作業効率化により、セグメント利益が増加しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,454百万円（前年同期比5.5%減）、セグメント利益は84百万円（前年同期比136.6%増）となりました。

②販売事業

販売事業では、「生販直結モデル」の一部として、外食店舗を運営しております。

当第3四半期における国内の外食店舗数が第3四半期末時点で185店舗で3店舗減少となりましたが、繁忙期の売上を最大化すべく、経営陣が全面的に関わる全社プロジェクトを立ち上げ、店舗オペレーションの改善やサービス向上を推進した結果、販売事業の売上高はほぼ横ばいとなりました。

セグメント利益については、販売費用や採用費用を中心にコストコントロールを行い、収益体質の改善を図っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は17,367百万円（前年同期比0.3%減）、セグメント利益は112百万円（前年同期はセグメント損失139百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度に比べ、横ばいの10,594百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,552百万円(前連結会計年度比144百万円の増加)となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益137百万円を計上したことによるものです。

(自己資本比率)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は14.0% (前連結会計年度比1.4ポイント増) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月15日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,161,737	2,201,720
売掛金	960,258	1,227,156
たな卸資産	620,659	565,090
その他	438,665	358,807
貸倒引当金	△5,784	△6,285
流動資産合計	4,175,536	4,346,489
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,142,750	6,797,979
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,121,603	△3,696,855
建物及び構築物（純額）	3,021,147	3,101,124
工具、器具及び備品	2,581,998	2,375,505
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,164,714	△2,003,572
工具、器具及び備品（純額）	417,284	371,933
建設仮勘定	162,967	9,384
その他	525,907	616,465
減価償却累計額及び減損損失累計額	△338,377	△377,276
その他（純額）	187,530	239,189
有形固定資産合計	3,788,929	3,721,630
無形固定資産		
のれん	304,757	250,212
ソフトウェア	24,372	21,930
その他	4,578	3,144
無形固定資産合計	333,708	275,287
投資その他の資産		
投資有価証券	152,748	161,482
敷金及び保証金	1,883,084	1,802,187
長期貸付金	12,448	699
長期前払費用	228,217	194,929
繰延税金資産	63,393	68,310
その他	18,613	28,577
貸倒引当金	△5,304	△5,304
投資その他の資産合計	2,353,201	2,250,881
固定資産合計	6,475,839	6,247,800
資産合計	10,651,375	10,594,289

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	893,196	1,033,989
短期借入金	400,000	400,000
1年内償還予定の社債	50,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,946,304	810,524
未払金	329,565	197,059
未払費用	1,189,792	1,003,743
関係会社整理損失引当金	214,690	—
未払法人税等	66,576	131,649
未払消費税等	66,695	115,848
その他	186,539	156,307
流動負債合計	5,343,361	3,849,121
固定負債		
社債	85,000	—
長期借入金	3,492,367	4,763,301
繰延税金負債	17,302	17,316
関係会社整理損失引当金	48,500	18,835
その他	256,446	392,823
固定負債合計	3,899,617	5,192,277
負債合計	9,242,978	9,041,398
純資産の部		
株主資本		
資本金	495,517	495,517
資本剰余金	475,517	475,517
利益剰余金	809,040	946,192
自己株式	△374,853	△374,853
株主資本合計	1,405,222	1,542,374
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△65,980	△63,456
その他の包括利益累計額合計	△65,980	△63,456
新株予約権	7,724	7,724
非支配株主持分	61,431	66,248
純資産合計	1,408,397	1,552,890
負債純資産合計	10,651,375	10,594,289

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	18,337,815	18,158,473
売上原価	5,963,032	5,895,906
売上総利益	12,374,783	12,262,567
販売費及び一般管理費	12,500,805	12,068,226
営業利益又は営業損失(△)	△126,022	194,340
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,033	1,720
持分法による投資利益	11,623	8,734
協賛金収入	127,278	33,812
その他	110,345	38,665
営業外収益合計	251,280	82,933
営業外費用		
期限前弁済手数料	—	19,457
支払利息	34,086	27,618
解約違約金	10,843	—
為替差損	7,651	14,763
シンジケートローン手数料	—	90,000
その他	15,518	22,020
営業外費用合計	68,101	173,860
経常利益	57,157	103,413
特別利益		
固定資産売却益	11,957	13,784
関係会社株式売却益	—	81,473
その他	2,806	—
特別利益合計	14,763	95,258
特別損失		
固定資産除却損	8,217	15,015
減損損失	143,019	4,466
その他	—	51
特別損失合計	151,237	19,534
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△79,316	179,137
法人税、住民税及び事業税	59,654	49,037
法人税等調整額	△1,557	△4,916
法人税等合計	58,097	44,120
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△137,413	135,016
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△21,815	△2,135
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△115,598	137,152

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△137,413	135,016
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	15,526	2,523
その他の包括利益合計	15,526	2,523
四半期包括利益	△121,887	137,540
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△99,046	139,675
非支配株主に係る四半期包括利益	△22,841	△2,135

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結財務諸 表計上額 (注) 2
	生産流通事業	販売事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	935,096	17,402,718	18,337,815	—	18,337,815
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,662,553	8,726	1,671,279	△1,671,279	—
計	2,597,649	17,411,445	20,009,095	△1,671,279	18,337,815
セグメント利益又は損失(△)	35,615	△139,471	△103,855	△22,166	△126,022

(注) 1 セグメント利益の調整額は、連結上ののれんの償却額△14,951千円及びたな卸資産の調整額等△7,215千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「販売事業」セグメントにおいて、売上減少等により、当初想定しておりました収益の見込めなくなった一部の店舗について、減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、143,019千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「販売事業」セグメントにおいて、2018年12月19日付で株式会社リアルテイストの全株式を取得したことから、当第3四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、309,787千円であります。

当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結財務諸 表計上額 (注) 2
	生産流通事業	販売事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	810,497	17,361,344	18,171,841	△13,368	18,158,473
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,644,236	6,439	1,650,676	△1,650,676	—
計	2,454,733	17,367,784	19,822,517	△1,664,044	18,158,473
セグメント利益	84,260	112,081	196,341	△2,000	194,340

(注) 1 セグメント利益の調整額は、たな卸資産の調整額等△2,000千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「販売事業」セグメントにおいて、売上減少等により、当初想定しておりました収益の見込めなくなった一部の店舗について、減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、4,466千円であります。